



## 口田東ボランティアセンター ボランティアに600人!!

「平成30年7月豪雨」災害に対応するため、7月11日に緊急に開催した地区社協・理事会において、「口田東ボランティアセンター」を、四町連絡協議会・民児協とともに開設することを決定しました。

近隣町の惨状を前に、非被災地唯一のセンターとしての設立ですが、全戸ビラ配布などの経過を経て、7月13日(金)から、口田東集会所の駐車場にテントを張ってセンターを開設し、7月22日(日)までの10日間に、下記の通りボランティアとして延べ485名の参加を得ました。

作業現場には、前進基地を設け、昼食休憩や資材の配布拠点とするなど、体制を整え取り組みをすすめてきましたが、受付・送迎・資材運搬などのバックヤードに連日10名以上のスタッフ参加を得ており、総計では、600名以上の皆さんのご協力で活動を展開することができました。

なお、21日からは、他地域の皆さんの参加も得ました。酷暑の中、参加・協力・ご支援いただいた全ての皆さまに心から御礼申し上げます。

日付	ボランティア参加者	スタッフ
13日(金)	76名	受付・送迎・ 資材搬送など 連日10名 以上参加
14日(土)	50名	
15日(日)	72名	
16日(月)	51名	
17日(火)	28名	
18日(水)	18名	
19日(木)	16名	
20日(金)	26名	
21日(土)	69名	
22日(日)	79名	
合計	485名	100名以上

被災地の復興には、なお多くの援助と時間が必要と思われます。

今後は地域としての統一的取り組みではなく、個人としての対応となりますが、変わらずご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

### ご協力とご支援に 心から感謝



口田東地区社会福祉協議会  
会長 高垣 松夫

「7月豪雨」の口田東周辺地域に対する、緊急支援の「口田東ボランティアセンター」の取り組みに、延べ600名以上のご参加いただきました。

「酷暑」を超える圧倒的な暑さの中、老若男女を問わず、ご奮闘いただいた全ての皆さまに、心から御礼申し上げます。

この間、幸い大きな怪我や、熱中症での搬送などの事態を生じることなく、7月22日に緊急支援のセンターとしては解散をしました。

広く多くの皆さまの、ご支援とご協力を得て、センターとしての役割を全うできたものと思います。文字通りの「絆」がこの取り組みを支えた最大の力かとも思います。

センターとしては一旦閉鎖しましたが、この終わりが更なる「絆」づくりの始まりとなるよう、共に頑張りあいたいものと思います。

ボランティアセンターの運営にあたって、以下の団体の他、  
★参加できない高齢の父の思いとカンパを下さった方や  
★友人を通じてカンパを下さった方、★珈琲や飲料等を提供いただいた地区内の方々、★現場でスイカを下さった見知らぬおばあさん、などなど、多くの皆さまのご支援をいただくこととなりました。本当にありがとうございました。紙面の都合で記載しきれず、申し訳ありません。

- ◎看護師派遣や資材の提供 いでしたクリニック
- ◎飲料水の冷凍でのご支援 KB食品
- ◎資材の借用・印刷の支援 口田公民館
- ◎資材提供・健康アドバイス 口田地域包括支援センター
- ◎資材の提供 ・うつろぎ・チヨダバック他
- ◎休憩場所の提供 JR西日本・安芸矢口駅
- ◎広報支援と資材提供 浄土真宗本願寺派「教蓮寺」
- ◎活動資金の支援 中国新聞 高陽中央販売所
- 中国新聞 高陽南販売所
- 朝日新聞 高陽販売所
- 口田東四町連絡協議会
- 郵政労働者シバーエオン
- 広島げんき塾・あゆみの会他



# 平成30年7月豪雨に対する 口田東ボランティアセンターの取り組み

ボランティアに取り組んでいただいた地域の被災直後の状況(一部) 「インターネットから」

・矢口駅前・口田南七丁目・口田一丁目、田中学習塾周辺



ボランティア受付 登録とボランティア保険加入 口田東集会所



ボランティア活動 口田一丁目及び口田南七丁目



現場サテライト基地  
JR 安芸矢口駅・教蓮寺



センター廃止に伴い、ご支援いただき残った物品（飲料水 35箱やタオル・軍手・マスクなど）は、安佐北区社協及び他センターへ返納・寄贈しました。